

No. 446  
2008年  
9月

# OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階  
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352  
<http://www.orsj.or.jp/>

## ● 第60回シンポジウム

日時：9月9日(火) 13:00~18:30  
 場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育  
 研究棟 W 103  
 実行委員長：毛利峻治 (北海道大学)  
 テーマ：「サプライチェーン・マネジメントのフロンティア」  
 プログラム：  
 13:00~13:10 開会挨拶  
 実行委員長 毛利峻治 (北海道大学 教授)  
 13:10~14:10 基調講演：「水産加工からバイオ産業へー新時代の経営と CSR, 食の安全とはー」  
 井原慶児 (井原水産(株) 代表取締役社長)  
 14:10~15:10 「世界の SCM 研究—情報共有を中心とした展望—」  
 黒田 充 (青山学院大学 名誉教授)  
 15:20~16:20 「サプライ・チェーン最適化雑感」  
 久保幹雄 (東京海洋大学 教授)  
 16:20~17:20 「企業 SCM における現実的ソリューションと問題—サプライチェーン・ネットワーク研究部会活動を通して—」  
 高井英造 (株)フレームワークス 特別技術顧問  
 17:20~18:20 「SCM 最前線のプロセス参照モデル」  
 小野耕司 (サプライチェーンカウンシル日本支部 バイスチェアマン)  
 18:20~18:30 閉会挨拶  
 当日申込み参加費：正・賛助会員 4,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 5,000 円  
 (学生の方は, 学生証提示で 1,000 円)

### 参加費関連問合せ先：

OR 学会事務局 Fax. 03(3815)3352  
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

### シンポジウム関連問合せ先：

E-mail: nc 2008 f@.orsj.or.jp

\* 詳しくは <http://www.orsj.or.jp/nc2008f/sympo1.html> をご覧下さい。

## ● 平成 20 年秋季研究発表会

日程：9月10日(水)~11日(木)  
 場所：札幌コンベンションセンター  
<http://www.sora-scc.jp/index.php>  
 特別テーマ：「観光と OR」  
 実行委員長：木村俊一 (北海道大学)  
 特別講演：(参加無料)  
 ・柿沼博彦  
 (北海道旅客鉄道株式会社 取締役副社長)  
 「DMV はイノベーション」  
 ・大内 東 (北海道大学大学院情報科学研究科 教授, 観光情報学会 会長)  
 「観光と OR と情報」  
 当日申込参加費：正・賛助会員 7,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員 10,000 円  
 (但し, 学生の方は, 学生証提示で 2,000 円)  
 登壇料：非会員のみ, 参加費と別途 2,000 円/件  
 (本学会の許可が必要)  
 懇親会：9月10日(水) 18:00~  
 会場：北海道大学 ファカルティハウス  
 「エンレイソウ」  
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/info-j/enreisou.html>  
 会費：当日申込 6,000 円  
 問合せ先：秋季研究発表会実行委員会  
 E-mail: nc2008f@orsj.or.jp  
 \* 詳しくは, <http://www.orsj.or.jp/nc 2008 f/> をご覧下さい。

## ● 第 22 回企業事例交流会

趣 旨：OR 学会企業事例交流会とは, 企業の OR 実務担当者に OR 実施例 (問題の発生からさまざまな苦労を経て解決に至る苦労話など) を新規研究の発表という形式ではなく, OR の適用事例という形式で発表していただき, 学識者の方, 他企業の方と意見交換をしていただく場です。

日程：9月10日(水)  
場所：札幌コンベンションセンター

**参加方法**：研究発表会のセッションの一部として行な  
いますので、研究発表会参加の手続きをして下さい。

**プログラム (\*は発表者)**：

15：50～16：20 「省エネ機器普及のための環境意識の  
定量化」

\* 篠崎英孝, 中村好孝 (東京ガス株)

16：20～16：50 「冷凍機システムの効率的運用法に関  
する研究」

\* 小林美佐世 (松下電工株), 結城直也 (株博報堂),  
森田 浩 (大阪大学)

**問合せ先**：秋季研究発表会実行委員 行方常幸

E-mail: namekata@res.otaru-uc.ac.jp

## ● 第 61 回シンポジウム

**日 程**：平成 21 年 3 月 16 日(月)

**場 所**：筑波大学 春日エリア (旧図書館情報大学)

**実行委員長**：住田 潮 (筑波大学)

## ● 平成 21 年春季研究発表会

**日 程**：平成 21 年 3 月 17 日(火)～18 日(水)

**場 所**：筑波大学 春日エリア (旧図書館情報大学)

**実行委員長**：香田正人 (筑波大学)

**特別テーマ**：「地球時代の OR」

## ● 第 20 回 RAMP シンポジウム

**日 程**：10 月 30 日(木)・31 日(金)

**場 所**：東京工業大学西 9 号館 2F

デジタル多目的ホール (東京都目黒区大岡山)

**実行委員長**：土谷 隆 (統計数理研究所)

**プログラム (\*が講演者)**：

10 月 30 日(木)

9：30～12：30

セッション 1：「整数計画・離散最適化の進展」

オーガナイザー：藤江哲也 (兵庫県立大学)

1-1 「ここまで解ける整数計画」

宮代隆平 (東京農工大学)

1-2 「混合整数計画ソルバの並列化について」

\* 品野勇治 (東京農工大学), Tobias Achterberg  
(ILOG), 藤江哲也 (兵庫県立大学)

1-3 「大規模離散計画問題へのラグランジュ緩和の応  
用」

\* 田辺隆人, 原田耕平, 島田直樹 (株数理システム)

1-4 「船舶スケジューリング」

\* 小林和博 (海上技術安全研究所), 久保幹雄 (東京

海洋大学)

14：00～17：00

セッション 2：「連続最適化周辺の最近の発展」

オーガナイザー：小島政和 (東京工業大学)

2-1 「浮動小数点数の Error Free Transformation と  
精度保証付き数値計算」

大石進一 (早稲田大学)

2-2 「Generalized Nash Equilibria: Theory and  
Algorithms」

福島雅夫 (京都大学)

2-3 「一般化 KYP 補題と最適化」

原 辰次 (東京大学)

懇親会

10 月 31 日(金)

9：30～12：30

セッション 3：「実務における数理計画法」

オーガナイザー：田辺隆人 (数理システム)

3-1 「数理計画法による発電プラントの運転最適化」

江本源一 (三菱化学株)

3-2 「対局スケジューリングにおけるメタヒューリス  
ティックスアルゴリズムの利用」

\* 藤井浩一, 新田利博, 村山 昇, 佐藤 誠 (株数理  
システム)

3-3 「上水道/浄配水場プロセスのオンライン最適取水  
流量制御への数理計画法適用」

\* 松岡研一, 高橋 諭 (株山武)

3-4 「実務における最適化問題に対するヒューリステ  
ィクス解法」

吉持敦史 (キヤノン IT ソリューションズ株)

14：00～17：00

セッション 4：「数理諸分野と最適化」

オーガナイザー：土谷 隆 (統計数理研究所)

4-1 「海洋現象への最適化法の応用としてのデータ同  
化：変動の再現と原因究明」

\* 蒲地政文, 藤井陽介, 碓氷典久, 松本 聡 (気象研  
究所)

増田周平 (海洋研究開発機構), 淡路敏之 (海洋研  
究開発機構, 京都大学)

4-2 「Compressed Sensing: an Overview」

Emmanuel Candes (California Institute of Tech-  
nology, USA)

4-3 「Bounded Error Estimation: A Chebyshev Cen-  
ter Approach」

Yonina Eldar (Technion, Israel)

\* 詳しくは、<http://www.ism.ac.jp/~tsuchiya/RAMP2008/> をご覧下さい。

問合せ先：RAMP 2008 事務局

〒106-8569 港区南麻布 4-6-7 統計数理研究所

E-mail: ramp2008@sun312.ism.ac.jp

Tel. 03(5421)8758

## ● 研究部会・グループ開催案内

〔評価のOR〕

・第28回

日時：9月26日(金) 13:30~16:00

場所：静岡大学

工学部システム工学棟情報交流会議室

(浜松市城北3-5-1)

<http://www.eng.shizuoka.ac.jp/access.html>

テーマと講師：

(1)「How a multi-tasking job design affects productivity? Evidence from Australian Open Cut Coal Mines」高橋新吾(国際大学)

(2)「アジア太平洋国際産業連関表とDEAによる産業効率の検討」

天達洋文, 上田 徹(成蹊大学)

\* 詳しくは、<http://www-sys.ist.osaka-u.ac.jp/hyoka/> をご覧下さい。

問合せ先：静岡大学 関谷和之

E-mail: sekitani@sys.eng.shizuoka.ac.jp

〔ORと実践, ソフトコンピューティングとOR〕(合同)

日時：10月4日(土) 14:30~17:30

場所：福井工業大学 FUT タワー多目的会議室

(〒910-8505 福井市学園3-6-1)

テーマと講師：

(1) 14:35~15:25

「AHPの区間評価」田中英夫(大阪府立大学)

(2) 15:35~16:25

「ソフトコンピューティング手法に基づくシステム最適化とその応用」

加藤浩介(広島大学)

(3) 16:35~17:25 「データベースマーケティングの分析手法」

杉浦 登(榊大広)

問合せ先：小松短期大学 金子宏之

E-mail: kaneko@komatsu-c.ac.jp

神戸学院大学 柴田淳子

E-mail: shibata@eb.kobegakuin.ac.jp

## ● 会合案内

〔第282回新宿OR研究会〕

日時：10月21日(火) 12:00~13:30

場所：東天紅会議室(新宿センタービル53F)

テーマ：「医療・福祉分野からのOR—勤務制度変更の効果に関する調査事例—」

講師：越河六郎氏(松蔭大学経営文化学部 教授)

参加費：3,000円

問合せ先：日本OR学会事務局

## ● 助成案内

・平成21年度笹川科学研究助成

〔学術研究部門〕

申請区分と研究対象領域：

〔一般科学研究〕人文・社会科学および自然科学に関する研究

〔海洋・船舶科学研究〕「海洋学および海洋関連科学」ならびに「船舶および船舶関連科学」の研究を特に奨励するもので、その成果が海洋・船舶関係に直結する研究

助成金額：1研究あたり100万円を限度(単年度のみ)

〔実践研究部門〕

研究対象領域：実践研究とは現場に所属する者またはグループが、所有する資料の調査研究はもとより、現場で抱える諸問題解決のため、あるいは新たな指導方法導入のための事例研究や開発研究等も含めた成果が現場または広くその分野の活性化・発展に貢献することを目的とする研究

助成金額：1研究あたり50万円を限度(単年度のみ)

受付期間：10月1日(水)~10月15日(水) 必着

問合せ先：財団法人科学協会 笹川科学研究助成係

〒107-0052 港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F

Tel. 03(6229)5365 Fax. 03(6229)5369

E-mail: ssrcg-jss@silver.ocn.ne.jp

\* 募集の詳細は、<http://www.jss.or.jp> をご覧下さい。

・平成20年度鹿島学術振興財団研究助成

趣旨：下記分野における国民生活の向上に寄与する研究に対する助成

対象分野：

(1)都市・居住環境の整備：

都市並びに居住環境の向上, 災害・公害の防止, 交通・輸送能力の向上

(2)国土・資源の有効利用：

国土の有効利用と保全，海洋の利用と保全，水資源の確保と有効利用，エネルギー及び資源の有効利用，輸送，貯蔵，廃棄物の処理と再資源化

(3)文化的遺産・自然環境の保全：

文化的遺産の保全，自然環境の保全

**対象研究者：**上記分野での研究者または研究グループ

**助成金額と期間：**

(1)総額 4,500 万円 (1 ヶ年)，1 件あたりの助成金は，継続期間の分も含めて合計 300 万円以内とする。

(2)助成期間は原則として 2 ヶ年以内。

**使途：**研究に必要な設備備品費，消耗品費，謝金，旅費，印刷製本費等

**推薦者：**OR 学会会長

\* 推薦締切は，11 月 20 日(木)ですので，表彰委員会委員長宛に 10 月 17 日(金)までにお送り下さい。詳しい募集要項は学会事務局にありますので，お問合せ下さい。

・ ICF (財)国際コミュニケーション基金 平成 20 年度助成・援助募集

**対象分野：**

(1)調査研究—国際，国内の通信の普及・発展，グローバル化に寄与する調査，研究

(2)国際会議開催—通信の普及・発展に寄与する国際会議

(3)社会的・文化的諸活動—情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の活動

**助成金額：**1 件あたり 100 万円～300 万円 (対象分野による)

**受付期間：**10 月 1 日(水)～10 月 20 日(月)必着

**問合せ先：**〒 108-0075 港区港南 2-16-1

品川イーストワンタワー 18 階

財団法人国際コミュニケーション基金

Tel. 03(6716)1181 Fax. 03(6716)1186

E-mail: ngsm@icf.or.jp

\* 詳しくは <http://www.icf.or.jp> をご覧下さい。

● 他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては，原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので，皆様奮ってご参

加下さい。

・ 第 21 回秋季信頼性シンポジウム (協賛)

**主 催：**日本信頼性学会

**日 程：**10 月 31 日(金)

**場 所：**財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル  
東京都杉並区高円寺南 1-2-1

**問合せ先：**日本信頼性学会事務局

〒 166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル内

Tel. 03(5378)9853 Fax. 03(5378)1227

E-mail: reaj@juse.or.jp

\* 詳しくは <http://reaj.i-juse.co.jp> をご覧下さい。

・ 第 24 回京都賞記念ワークショップ (協賛)

**主 催：**財稲盛財団

**日 時：**11 月 12 日(水) 13:00～17:30

**場 所：**国立京都国際会館

**問合せ先：**財稲盛財団 広報部

E-mail: comm@inamori-f.or.jp

● 公募案内

・ 防衛大学校総合教育学群数学教育室

**募集人員：**教授または准教授 1 名

**専門分野：**応用数学

**担当科目：**基礎科目 (微積分，線形代数)，応用数学，確率統計

**応募資格：**博士の学位を有し，博士前期課程の研究指導ができる方。

**着任時期：**平成 21 年 4 月 1 日

**提出書類：**(1)履歴書 (写真添付)，(2)研究業績リスト，(3)主要論文別刷 (コピー可)，(4)研究概要 (A4 版用紙 1 枚)，(5)研究能力を評価できる照会者 2 名の氏名と連絡先，(6)連絡先 (住所，Tel，E-mail)

**応募締切：**9 月 24 日(水)必着

**書類送付先及び問合せ先：**

〒 239-8686 横須賀市走水 1-10-20

防衛大学校総合教育学群数学教育室 打越敬祐

E-mail: uchikosh@nda.ac.jp

\* 封筒の表に「応募書類在中」と朱書し，簡易書留で送付のこと。

\* 詳しくは，<http://www.nda.ac.jp/cc/users/uchikosh/koubo.htm> をご覧下さい。